

【応募用紙】

提出いただいた応募書類（規約・会則等、役員名簿、収支書類を除く）は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開します。

1. 応募者概要

氏名または 団体名	(ふりがな:ぼらんていあ おおとり) ボランティア大鳥		
代表者の 役職・氏名 (団体の場 合)	(ふりがな:みやもと れいこ) (役職) (氏名) 代表 宮本 玲子	会員数 (団体の場合)	(令和2年 11月現在) 22 名
ホームペ ージアドレ ス	なし	活動開始年月	昭和・平成 12 年 1月
活動地域 (複数選択 可)	①横浜市 (中) 区 2 横浜市全域 3 その他()		
活動分野 (複数選択 可)	1 川・海・水 ②緑・樹林 3 農業 4 3R ⑤環境教育・学習 6 生物多様性 7 地球温暖化対策 ⑧その他(福祉教育)		
活動の目 的やねら い	地域の人たちが、もっと学校や子どもたちに関わり、あいさつや気軽に声かけができるような豊かな人間関係を築いていけるよう、地域と学校のふれあいの窓口となり、活動をコーディネートしていくことを目的としたボランティアグループです。		
過去に受け た表彰およ び受賞年度	(例)横浜□□賞(平成○年度) 平成 20 年度 10 月 25 日 「横浜市教育委員会表彰」 地域協力部門		

2 最近3年間の主な活動

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、 発行部数等	詳細内容
平成 30 年度	・クリーンアップ大鳥小 (大そうじボランティア)	全209名	・年3回開催(7・12・3月)児童、地域、保護者の方々とふれ合いながら学校をきれいにした。
	・第16回 ふれあい・eye・愛	55名	・中区在住の視覚障がい者の方々とふれ合いながら本牧の町歩きをした。
	・第20回山頂公園 クリーンアップラリー	317名	・近隣の各学校からスタートし、本牧の町を歩きゴミ拾いしながら本牧山頂公園をめざし、ゴール後は他校の方々とダンスをしたり食事をしながらふれ合った。
	・ボランティア大鳥 NEWS ・本読みの会	全3回 2847部 30人	・お知らせやイベント内容を NEWS にして発行。 ・水曜日の朝(8:20~8:35)各クラスに行き子どもたちに読み聞かせをした。

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループひだまり 	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室のショーケースに季節にあったディスプレイをした。司書とのコラボで、休み時間に、おりがみ教室をした。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップ大鳥小 (大そうじボランティア) 	全2回 98名	<ul style="list-style-type: none"> ・7・12月に開催。児童、地域、保護者の方々と学校をきれいにした。3月は、コロナウイルスの影響で中止した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回 ふれあい・eye・愛 	58名	<ul style="list-style-type: none"> ・中区在住の視覚障がい者の方々とふれ合いながら本牧の町歩きをした。
	<ul style="list-style-type: none"> ・第21回山頂公園 クリーンアップラリー 	320名	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の各学校からスタートし、本牧の町を歩きゴミ拾いしながら本牧山頂公園をめざし、ゴール後は他校の方々とダンスをしたり食事をしながらふれ合った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア大鳥 NEWS 	全2回 1783部	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせやイベント内容を NEWS にして発行。 <u>3月は、コロナウイルスの影響の為 中止</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・本読みの会 	30人	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日の朝(8:20~8:35)各クラスに行き子どもたちに読み聞かせをした。
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループひだまり 	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室のショーケースに季節にあったディスプレイをした。司書とのコラボで子どもたち向けに、休み時間に、おりがみ教室をした。(子どもの参加、約20人)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップ大鳥小 (大そうじボランティア) 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中。
	<ul style="list-style-type: none"> ・第18回 ふれあい・eye・愛 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、第18回については中止。
	<ul style="list-style-type: none"> ・第22回山頂公園 クリーンアップラリー 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に配慮し開催を検討中。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア大鳥 NEWS 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、発行休止中。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本読みの会 	30人	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で休止していたが、10月より予め録画した読み聞かせを、当日、該当クラスにテレビ放送にて再開した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループひだまり 	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、10月より再開し、司書と相談しながら図書室のショーケースに季節にあったディスプレイをしている。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・全活動内容等の周知・依頼 ・第四南部地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・大鳥小学区内地域の方が気軽に参加してもらえるように、学区域内の全町内会に依頼して、回覧板や掲示板等で、参加を呼びかけたりイベントの報告をしている。
学校との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 活動全般 ・クリーンアップ大鳥小 (大そうじボランティア) ・ふれあい・eye・愛 ・山頂公園 クリーンアップラリー ・本読みの会 ・グループひだまり 	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動を行うにあたって、大鳥小学校に活動の場所の提供、印刷用紙および印刷機の利用やイベントに必要な物の貸出、イベント参加募集の印刷物の配布をしてもらっている。 ・教職員参加・協力。 ・クリーンアップ大鳥小では、PTA学年委員会がワンデイサポーター(保護者)を集めて参加している。 ・ふれあい・eye・愛では、人権委員の児童も参加。 ・山頂公園クリーンアップラリーでは、PTA や放課後キッズクラブを中心に間門小、本牧小、本牧南小、大鳥中、本牧中に呼びかけ、児童、生徒、教員、保護者や地域の方々が毎回参加してくれている。 ・学校側と調整し、各教室に読み聞かせに行く。 ・図書室のショーケースのディスプレイや司書とコラボでおりがみ教室をしている。
他の市民団体との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・山頂公園 クリーンアップラリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・公益信託ココハマ中区まちづくり本牧基金より助成金。 ・横浜本牧ロータリークラブ 助成金の提供とイベントの参加。 ・YSCC(横浜スポーツ&カルチャークラブ)当日のサポーターとして参加。
企業等との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・山頂公園 クリーンアップラリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)横浜植木 当日の会場提供と設営、調理、ゴミ処理の協力。
行政との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・山頂公園 クリーンアップラリー ・クリーンアップ大鳥小 (大そうじボランティア) ・ふれあい・eye・愛 	<ul style="list-style-type: none"> ・中区地域青少年団体補助金 担当 中区地域振興課 補助金 ・なかくふれあい助成金(社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会)
その他、環境以外の分野との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい・eye・愛 	<ul style="list-style-type: none"> ・中区視覚障がい者福祉協会(共催) ・NPO法人 新(あらた) 本牧ダック イベントで使用する飲み物の買い出しやぞうきんを購入している。 ・社会福祉法人聖坂学園オリーブ・フードファクトリー イベントで使用するお菓子を購入している。

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

22年前、大鳥小学校の当時の校長から子どもの健やかな成長のために「地域と子どものふれあいの窓口を作ってほしい」と頼まれ、PTA学年委員会の有志で「ボランティア大鳥」を立ち上げた。

地域清掃「山頂公園クリーンアップラリー」から始めたが、参加者の「楽しかった」、「またやってほしい」の声や、「視覚障がいの人とふれあいたい」、「子どもたちに読み聞かせをしたい」などの要望に応じて活動も広がっていった。「明るく・楽しく・無理なく」をモットーに、「継続は力なり」を目標に、保護者、地域、他校の人をまきこんで活動し、場所だけではなく心の環境も整える一助となることを願っている。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

- ・「クリーンアップ大鳥小」（大そうじボランティア）…地域の人や保護者の参加により、子どもの手の届かない所までを清掃したり、そうじのやり方について知る事ができた。毎年3月には、卒業したての6年生が大勢参加し、伝統のようになっている。
- ・「本読みの会」…地域の様々な人による読み聞かせにより、本だけではなく紙芝居、落語などにも出会うことができ、読書に関心をもつようになった。
- ・「グループひだまり」…図書室のショーケースのディスプレイを行うことにより、環境を整えたり、司書とのコラボで、おりがみ教室を実施して、子どもたちに、より興味関心をもってもらうことができた。
- ・「山頂公園クリーンアップラリー」…みんなで使う本牧山頂公園をきれいにすることにより自然や環境美化への意識を育てることができた。第1回～21回開催し、今まで拾ったごみの総量は、2203.83kg。ここ数年、目に見えて減っている。(株)横浜植木からの話を聞き、本牧山頂公園の自然や環境を知ることができた。また、近隣の学校の人たちとふれ合うことで顔見知りになれた。
- ・「ふれあい・eye・愛」…視覚障がい者の方と一緒に町を歩く事により障がい者の方が歩きやすい環境について考えたり、参加者からの提案で、実際に音響式信号機（山手警察署前の信号機）の音量をあげてもらったことがある。引きこもった障がい者の方が町に出るきっかけになった事もある。
- ・各イベントにおいて、申し込み者が様々な人とふれ合えるように、事前にバランスよくグループ分けし、グループ活動として自己紹介、グループリーダー・グループ名を決めるなどして、より良いふれ合いが出来るような工夫をしている。それにより、参加者同士に輪ができ顔見知りになり、親睦を深めている。リピーターも多く、毎年成果がでている。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

- ・「山頂公園クリーンアップラリー」のねらいは、山頂公園を楽しくふれあいながら清掃することによって、大人や子ども、地域の児童、保護者同士が顔見知りになり、つながりを深めたり、みんなで使う山頂公園をきれいにすることにより、環境美化や防災への意識を育てる事なので、今後ゴミを少なくするような啓発活動(ポスターづくりなど)に発展させて行きたい。
- ・今後のボランティア大鳥の活動方針としては、関わってくださった方々と築いてきた信頼関係を持続できるように、さらに努力していきたい。また時間がない人、仕事している人でも、気軽に参加できるように工夫したい。そしてコロナ禍でも出来る事を見つけて、少しずつ再開していきたい。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

◎「ボランティア大鳥」が、他とちょっと違うのは、ふれあいを大切にしている事です。

校内での読み聞かせや、図書室のディスプレイでもたくさんの児童と声かけをして会話を楽しんでいます。イベントでは、“自然にふれ合えるしかけ”を用意します。それは、グループ分け、自己紹介、リーダーやグループ名を決めたり、出発のエールをしたりして、活動を進めて行くうちに声かけや会話がうまれ、参加者同士が、どんどん打ち解けて仲良くなっていくのがわかります。イベントが終わる時、みんなで一日をふり返る時間をつくり楽しかった思いや喜びを共有して「また、会いましょう！」と帰っていく。こうやって、ただごみを拾う・掃除をする・障がい者をサポートする、だけではなく、参加した人全員がふれ合ってきたあたたかい気持ちを持ち帰ってもらえるような活動は、あまりないとの声もたくさんいただいています。

とは言え、立ち上げた当時は、いろいろな苦勞がありました。

「ふれあいをコーディネートしていく」という従来あまり例のないボランティア活動でしたので、学校や地域の皆様に主旨を理解してもらい、協力を得るために努力が必要でした。

そこで、学校では毎年、年度始めに、校長先生をはじめ、地域担当の先生と顔合わせをし、年間計画を調整し先生方が参加しやすい日程、やり方で協力をお願いしました。

その上で、職員会議にメンバーが自らお邪魔し、ボランティア大鳥の活動や計画、メンバーの紹介を直接先生方と顔を合わせて行なうことにしました。

こうする事で、先生方と顔見知りになり、人事異動があっても、引き続き連携することができました。

また、近頃、子どもたちがなかなか地域の行事に参加してくれないという声を聞くので、児童に向けては、全校朝会で時間をいただき、メンバーみずからステージに立ち、児童全員の前でイベントの宣伝を、劇やクイズ仕立てに工夫して、わかりやすく楽しく参加を呼びかけています。その結果、毎回興味を持った子が自主的に参加してくれるようになったのです。

地域の方との連携も大変でした。地域の方には回覧板でお知らせするしかないため、まず連合町内会の会長会議に出向き、説明して活動の主旨をわかってもらえるよう努力しました。

大鳥小学校で年2回催される「学校運営協議会」には、第1回より出席し、地域の方と一緒に、「大鳥小の子どもたちのために力を合わせ、より良い学校にしたい」という思いを学校、地域の方と共有し育んできました。こうして信頼関係を築いてきたことが継続のカギかもしれません。

「山頂公園クリーンアップラリー」は、他校にも広がり、今では大鳥小のみならず、本牧の風物詩と評価いただいております。

こうして行なってきた、どのイベントでも子どもたちは、皆一所懸命、夢中で取り組み、今まで誰一人、ふざけたり、さぼったりした子はいません。日頃やんちゃな男子が、驚くほど親切に視覚障がいの方に接したり、高学年が低学年の子の面倒をみたりと、たくさんの“笑顔になる場面”に立ち会えた事が、私たちにとっても大きな喜びでした。

参加者からのアンケートで「楽しかった」「また参加したい」「ありがとう」などの声があげられ、これを「ボランティア大鳥 NEWS」にして、またフィードバックする・・・このような、あたたかい交流があったからこそ、20年以上も活動してこられたのだと思います。

また、スタッフ同士も「やるからには、自分たちも楽しもう！」の気持ちで、たいへん仲良くやってこられた事も大きな力になりました。途中メンバーを病気で亡くすという悲しい出来事もありましたが、いつでもゆるやかに朗らかにつながっている仲間は、私自身の宝物でもあります。

これからも、子どもたちの健やかな成長と、あたたかいふれあいのある地域・環境づくりのために「明るく・楽しく・無理なく」続けていきたいと願っています。

【山頂公園クリーンアップラリー】

◎スタート



小学生・中学生・保護者・先生・地域の人が1つのグループを作り、各小学校を出発します。

◎ふれあいタイム



ゴールのあとは、軽食を取り全員で”マイマイム”と”ジャンケン列車”をしてふれあいます。

◎ゴミ拾い



年々、ごみが減って町がきれいになってきました。

◎ふりかえり



ゴミを拾った感想などを発表してもらいます。

◎ゴミ拾い



中学生ボランティアが、リーダーになり車に気をつけながら山頂公園のゴールをめざします。

◎関わってくれたボランティアさん紹介



毎年大勢の方々が裏方として、お手伝いしていただいています。

【クリーンアップ大鳥小】（大そうじボランティア）

◎大そうじボランティアさんとおあいさつ！



各教室に行き、自己紹介してお手伝います。
大人も小人も顔見知りになり、地域の防犯の役目も担っています。

◎手の届かないところは
大そうじボランティアさん！



◎卒業生ボランティアさんと一緒に！



回を重ねるごとに参加してくれる卒業生が増え、うれしいです。

参観日とは、全然違う子ども達や先生の様子が見られます。

【ふれあい・eye・愛】本牧オリエンテーリング

◎グループごとに、出発のエール！



4つのポイントをめざします。
ゴールまでに1人一回は必ず誘導して歩きます。
毎年歩くコースを変えているので
視覚障がいの方々も楽しみにされています。

◎ゴールでは…



◎視覚障がい者の方を囲んで！



グループ活動や誘導を通じて
たくさんのふれあい。
毎回、楽しかったという感想を
いただいています。

視覚障がいの方々には、手作りのメダルを、他の人には、認定証を差し上げます。
ポイントでは、ゲームやクイズをして飲み物などをもらいます。
ゴールすると、誘導の仕方だけではなく町の様子を知ることができ、参加者同士の絆もうまれます。